

あつま

# 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①パラリンピック聖火リレー厚真町採火式
- ②小学生親子対象英語であそぼう/ふるさとPR動画を作成
- ③ふるさと教育（海の魅力探生き物探し）/東京2020オリンピック聖火リレータッチ展示/ほくでんから図書室に本の寄贈
- ④出前講座の活用について/児童生徒芸術鑑賞会/令和3年度厚真町文化祭について/8月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

東京2020パラリンピック  
聖火リレー

## 厚真町採火式

— 令和3年8月14日 —

8月14日（土）軽舞遺跡調査整理事務所において、東京2020パラリンピック聖火リレー厚真町採火式が執り行われました。パラリンピック聖火は、ギリシャで採火するオリンピック聖火とは違い、全国各地で火をおこす採火式を行い、そこで採火された火を1つに集めていく方式です。道内では21か所で採火されました。

厚真町では、障がいのある方や支える方々のパラリンピック成功への願いが込められたほか、宮坂町長からは「平成30年北海道胆振東部地震や新型コロナウイルス感染症拡大を乗り越える願いも込めて」とのあいさつがありました。

当日は、天候にも恵まれ、胆振身体障害者福祉協会厚真支部や町内の障がいのある方々のほか、来賓や関係者など総勢約30人が参加し、代表者5人が火打石による採火を行いました。着火した5つの炎は、1つに集約され、厚真町の火としてランタンに灯され、北海道各地で灯された火と共に、オンライン上で1つに集められ、札幌から東京へ送られました。採火式の様子は、当日欠席となった厚真リハビリセンター入所者の方々にも動画でリモート配信されました。



火打石での発火。炎が立ち上がるまでも一苦労。



代表5人の火が1つの炎へ



みんなで成し遂げたパラ採火式



ランタンに収められた聖火



\* 採火式の様子は、上記QRコードから観ることができます。

# 小学生親子対象「英語であそぼう！」

ALT（外国語指導助手）のジェイコブ・ロビンスさんを講師に、町内の2人のボランティアの協力をいただき、8月4日と5日に総合福祉センターで、また、8月10日と11日には、厚南児童会館で、小学生親子対象の「英語であそぼう！」が行われ、4日間で延べ34人が参加しました。

この事業は、今年度から実施している「厚真町メディアサポートプロジェクト」の一環として、「長期休暇中にテレビやゲームなどのメディアから離れ、親子で英語に親しんでもらう」という目的で開催されました。

子どもたちは、最初は緊張した面持ちでしたが、学校の授業で取り組んでいる日頃の成果を発揮し、自己紹介などを英語で行っていました。

また、「フルーツバスケット」やハンカチ落としに似た「キャット&マウス」（猫とねずみ）などの体を動かすゲームでは、英語を使いながら楽しく参加していました。

参加した保護者からは「英語に親しむ機会が少ないこともあり、少しハードルが高かった」「夏休みの良い思い出になった」という声が聞かれました。次回の冬休みには、たくさんの親子の参加をお待ちしています。

また青少年センターでは、英会話教室を行っています。興味のある方は、下記宛てにご連絡ください。



## 【連絡先】

厚真町教育委員会社会教育グループ ☎27-2495

厚南児童会館で、ALTとゲームを楽しむ子どもたち

# ふるさとPR動画を作成

## ★厚真プライドプロジェクト★

厚真中学校の3年生がふるさと学習の一環として、地域の魅力を発信する動画づくりに取り組みました。

今年度は、町内の食料生産や加工、販売に関わる3つの事業所の方の協力を得て、仕事の概要や工夫、厚真に対する思いなどをインタビューし、撮影を行いました。

それぞれの事業者の方の思いを伝えられるよう、生産された商品のお勧めの食べ方の紹介を含めた動画を専門家の方の協力を得て作成し、インターネット交流サイトFacebookに掲載しています。学校ではこの後、掲載内容への反応を分析し、今後の発信への提案を行う予定です。

ぜひご覧いただき「いいね！」を押して、取り組みを応援しましょう。



町内事業所で取材する生徒たち



Facebook  
厚真プライド  
プロジェクト  
ページ



お米



ジンギスカン



ハスカップ

QRコードから動画を観ることができます

## 第21回健康ふれあいマラソン大会について

令和3年10月10日（日）に実施の方向で準備を進めていますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止となる場合もあります。今後の状況は、配布する案内や厚真町ホームページをご覧ください。

## ふるさと教育(海の魅力探し生き物探し)

8月25日(水)、ふるさと教育の一環として、厚真中央小学校の4年生が、「海の生き物調べ」を行いました。午前中は、鶴川漁業協同組合厚真支所の職員を講師に、厚真の漁業の実態や漁師の仕事内容について説明を受けました。その後、浜厚真荷さばき所でも漁獲高一番を誇るホッキ貝の「ホッキむき体験」に挑戦しました。体験では、実際に貝のむき方やナイフの使い方などを教えてもらいましたが、子どもたちは、貝から身を切り離すことに悪戦苦闘していました。

午後からは、砂を深く掘ったり、流木をひっくり返したり、浜厚真の海辺で、「浜辺の生き物探索」を行いました。この日の活動を終えた子どもたちからは、「厚真でもシシャモが採れることは知らなかった」など感想が聞かれ、新たな発見と学びを深めた様子でした。



真剣にホッキ貝をむいている子どもたち



浜厚真の海辺で生き物探し

## 東京2020オリンピック聖火リレートーチ展示

オリンピックの聖火リレーは、1936年の第11回ベルリン大会で初めて行われました。聖火は、古代オリンピック発祥の地であるギリシャ・オリンピア市のヘラ神殿で、太陽光から採火されたもので、特別機で日本に運ばれてきました。この聖火は、桜の季節の訪れとともに日本全国47都道府県を数か月かけてリレーされ、開会式でメインスタジアムの聖火台に点火されました。

6月14日(月)に町内で行われる予定だった聖火リレーは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全プログラムが中止となりました。オリンピック終了後聖火ランナーの方から、町に対し、聖火リレートーチとユニフォームをご寄贈いただきましたので、9月末までは、青少年センターに、11月以降は、スポーツセンターに展示しています。ぜひご覧ください。



聖火リレートーチと聖火ランナーユニフォーム展示コーナーができました!!

## ほくでんグループ創立70周年記念 厚真町教育委員会に本の寄贈

8月25日(水)、苫東厚真発電所から、ほくでんグループ創立70周年を記念し、発電施設がある自治体への地域貢献として、教育委員会に135冊の図書の寄贈をいただきました。

苫東厚真発電所の菅原所長からは、厚真町に対する感謝の言葉と「子どもたちには、読書を通して科学に興味を持ってもらえるように」とメッセージがありました。

寄贈いただいた本は、青少年センター図書室に特設コーナーを設けて紹介しており、自然科学分野を中心に、「NHK カガクノミカタ」や、世界中で販売されている洋書の入門「ペンギンリーダーズ」などの本を貸し出しています。ぜひご来館ください。



ほくでんグループ創立70周年記念品の目録を  
遠藤教育長(左)に手渡す菅原所長(右)

## 出前講座の活用について

教育委員会では、町民の方が学習意欲を持ち、自主的に講師を招いて学習会などの講座を開催する場合、その講師の謝金の一部を支援しています。

対象となる講座は、町民または町内に職場のある方で5人以上のグループが開催するものとなります。

### 【講座例】

- ・福祉サービス講座
- ・各種文化教室
- ・各種スポーツ教室など

さまざまな資格や技術を持った方が出前講座の講師として登録していますので、興味のある方はご相談ください。講師を紹介することもできます。

※制度活用には事前申し込みが必要となりますので、詳細については下記に相談ください。

### ■問い合わせ先

教育委員会社会教育グループ ☎ 27-2495

## 児童生徒芸術鑑賞会開催 劇団風の子がやってきました!

今年の芸術鑑賞会は、札幌に拠点を置く「劇団風の子北海道」により、7月16日(金)には上厚真小学校で「かぜのこぴーぷーひゃら団」が、8月23日(月)には厚真中学校で「ボクラのばにしんぐぽいんと」が上演されました。

小学校の劇では、劇の中で披露された「けん玉やコマがうまかった」と感想がありました。

中学校の劇では「幸せとは?」と考えさせられる内容で「人間とお金、人と社会のつながりが分かり、内容が難しかったけれどもとても心に響いた」などの感想が聞かれました。生で演劇を観ることが少ない子どもたちにとっては、心を揺さぶられるまたとない機会になりました。



上厚真小学校で演じられた劇「かぜのこぴーぷーひゃら団」

## 令和3年度厚真町文化祭について

11月3日(水・祝日)、4日(木)に「厚真町文化祭」が総合福祉センターと厚南会館で開催されます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となりましたが、今年度は、感染症対策を徹底した上で、「展示部門」に限定した開催となります。

文化祭実行委員会では、町民の皆さんから展示作品を募集します。展示を希望される場合は、10月1日(金)までに下記までお申し込みください。

★展示にかかる消耗品等、実費負担については、厚真町文化祭実行委員会で負担します。

★文化祭に関する詳細については、10月の広報紙で全戸配布しますので、ご確認ください。

### ◆問合せ

厚真町文化協会事務局(教育委員会内)

☎ 27-2495

## 8月定例教育委員会

8月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

### ◆報告◆

教育長行事参加等の動向／第9回厚真町議会臨時会／厚真町防災学習研修会／教育委員会外部評価委員会／令和2年度一般会計決算審査／教育研究所第3回運営委員会／厚真町英語暗唱大会／児童生徒の新型コロナウイルス感染等／夏休み期間中の社会教育関連事業／パラリンピック採火式ほか

### ◆議案◆

外国青年英語指導助手任用規則の一部改正／厚真町の休日を守る条例の一部改正に伴う関係規則の整理に関する規則の制定／厚真町の休日を守る条例の一部改正に伴う関係規程・要綱の整理に関する訓令の制定／令和4年度使用教科用図書の採択／文化財の指定 ほか1件

### ★問合せ★

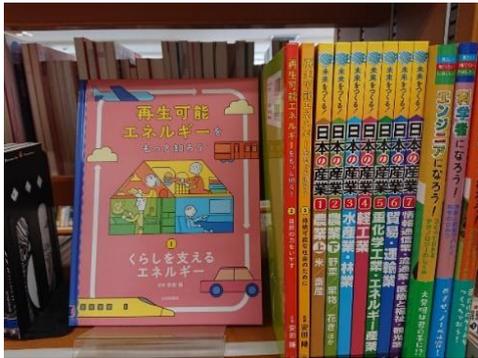
教育委員会学校教育グループ

☎ 27-2494

# 図書室だより

青少年センター図書室  
TEL 27-2495 (平日)  
TEL 27-2321 (土日)

## ほくでんグループ創立70周年記念 児童用図書135冊の寄贈がありました



ほくでんグループ創立70周年を記念して、厚真町公民館図書室に図書135冊を寄贈いただきました。

「子どもたちが科学や技術に興味を持ってくれそうな本を」との意向をうけ、自然科学分野を中心に選書しました。届いた本は写真やイラストが豊富に掲載されており、子どもばかりでなく大人が読んで楽しい本ばかりです。

また、英語の読解力を鍛える効果がある多読用テキストも選書しました。「辞書を引かずに読む」ことが上達への道とされていますので、ぜひ挑戦してみてください。

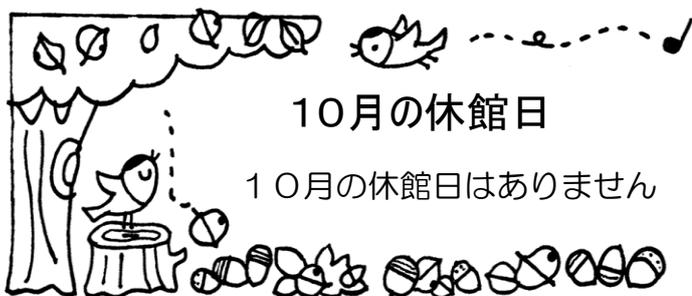
配架場所は図書室 A1 の書架です。どなたでも貸し出しできますので、お手に取ってご覧ください。

ほくでんグループからの寄贈図書コーナーが  
できました！！



### 感染拡大防止にご協力ください

- ・体調が悪い時、または家族の中に体調が悪い方がいる時は、外出を控える。
- ・図書室へ来るときは、マスクを着用して、入口で検温、消毒、緊急連絡先の記入をする。
- ・図書室内では常にマスクをして会話を控え、短時間の利用にとどめる。



### 10月の休館日

10月の休館日はありません

- 青少年センター図書室開館時間  
午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)  
午前9時から午後7時(火・木)
- 厚南会館図書室  
午前9時から午後5時(月～日)  
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は  
休館となります。

10月の「おはなしのびっこ」は 28日(木)10時30分から11時まで  
場所は厚真子育て支援センターです。

# ☆放課後子ども教室☆

日差しはあっても、吹き抜ける風はすっかりと秋の空気をまとっています。日暮れも随分と早くなってきました。身近な自然に目を向けると、空にはトンボが悠々と泳ぎ、足元にはバッタやコオロギがはねています。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためにも、改めて対策を見直し、2学期のスタートからは、天気の良い日は屋外で活動するようにしています。体育館での遊びを期待してきた子からは、一瞬、不満の声も挙がりましたが、実際に遊び始めるとサッカーをしたり、最近、体育の授業で習っている走り幅跳びで、「だれが一番遠くへ跳べるか選手権」が学年の枠を越えて始まったり、今ある環境の中で遊びを見つけ出していく姿に出会います。特に、昆虫やカエルなどの生き物探しは楽しいようで、虫とり網と虫かごを手に縦横無尽に走る子どもたち。その姿は見るだけで元気ももらえます。感染防止対策を講じながら、できるだけ子どもたちがのびのびと過ごせる場をつくっていきたいと思います。

8月の子ども教室では、プール遊びやモノづくり（トイレットペーパーの芯や紙コップを使ってピンポン玉を転がしゴールを目指す仕掛け工作）などのプログラムを実施しました。プール遊びでは去りゆく夏を最後の最後まで楽しみ、帰る頃にはクタクタになっていました。でも、その顔にはやりきった満足感があふれていました。モノづくりのプログラムでは、今年もキャンドルホルダーをつくりました。3年前に起こった北海道胆振東部地震。9月が近づくと、何となく心が落ち着かない感じが否めません。そんなとき、ロウソク（安全面に考慮し、子どもたちにはロウソク型のライトを渡しました）の優しい灯りを眺めて、穏やかな気持ちで過ごせようという願いを込めて、よりロウソクの灯りが美しく映る入れ物をつくりました。水を張った器に本来は爪を彩るために使うマニキュアを数滴落とし、そこにできる油膜をガラス瓶に移して装飾をします。最初は、うまくできなかった子も、何度もやってみることで上達していきました。指や足が色とりどりに染まってしまった子もいましたが、水の揺れがつくり出す様々な形を重ね合わせ、素敵な模様のキャンドルホルダーが出来上がりました。ご家族で揺らめく灯りを楽しんでもらえたらうれしいです。

